

社会科（公民的分野）学習指導案

日時 令和元年 7月 5日（金）第6教時

学級

授業者

1. 単元（題材）名

第1章 現代社会と私たちの生活 1節 現代社会の特色と私たち 5 持続可能な社会に向けて

2. 単元観

本単元は、中学校社会科学学習指導要領解説公民的分野（1）「私たちと現代社会」の内容をもとに設定した。この単元のねらいは、現代日本の特色について、その課題を追究したり解決したりする活動を通して、これから始まる公民的分野の学習への関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を養うことである。

まず、単元の導入で課題を解決するために必要な社会的な見方・考え方について学習することで、本単元でどのような学習をしていくのか見通しをもたせたい。次に、各授業で社会的な見方・考え方を活用させることによって思考力や判断力を高め、まとめの学習で、本単元で学習したことを踏まえて、現代社会の特色について追究し、自分の考えを表現する力を高める学習活動を設定していきたい。

また、他単元との関連では、地理的分野・歴史的分野で学習してきた「持続可能な社会」を築いていくために必要なことを、公民的分野としてどう捉え、考えていくか、今後の学習の見通しをもたせる上で重要な単元である。

生徒には、現代社会の特色について考察させるとともに、公民的分野における社会的な見方・考え方が、現在進行形の社会状況や将来において社会をどう築いていくかという視点にもとづいていることに気付かせたい。

3. 研究とのかかわり

①学習者が社会的な見方・考え方を働かせ、思考・判断・表現する学習活動

ア 単元デザイン

単元の始めに「単元見通し学習」を設定し、その単元で学ぶ社会的な見方・考え方について学んだ後、毎時間を通して活用を図る。そして単元の最後に設定した「単元まとめ学習」で、学習者が自ら社会的な見方・考え方を働かせるような学習活動を配置する。

イ 社会的な見方・考え方を明確にする

「単元 keyword」として、明確に提示し、各授業の内容に応じて活用していく。

今回学習する社会的な見方・考え方＝単元 key1 「現代社会の変化」＝社会の〇〇化

単元 key2 「持続可能な社会」＝どんな発展 or 課題？

単元 key3 「社会参画」＝私たちにできることは？

②教材・教具の工夫

ア 新聞の活用

現実の社会がどのように変化しているかをとらえるため、記事探し→切り抜き→新聞キーワードを考える活動に利用。

イ マグネットシートの活用

各個人の意見をグループで集約したり、交流するために活用。何度も消したり書いたりすることができ、各自1本ずつペンをもつことで、グループ全員が書きこむことができる。

ウ 思考ツールの活用

問題について考える力や意見や考えを表現する力を身に付けるために活用。

4. 単元目標

現代日本の社会の特色として、少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解させるとともに、持続可能な社会についての考えることを通して、これから始める公民的分野の学習に対して関心を高める。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
現代社会の特色に関する考察を基に、社会の変化に対する関心を高め、意欲的に追究してその特色をとらえようとしている。	現代社会の特色について、社会的な現象を捉える言葉を活用しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	社会の変化や特色を表す様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったりワークシートなどにまとめたりしている。	現代社会の特色に関する考察を基に、様々な現象の概念や意味を理解し、その知識を身に付けている。

別紙提案資料に詳細

5. 単元の指導計画と評価規準

	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	社会的な見方・考え方を働かせる活動
1	スーパーマーケットから現代社会を見よう	現代社会の変化について関心を持ち、意欲的に追究している。 A キーワードを用いて自分の考えを記述 B 書いている 評価物：ワークシート		現代日本の社会の特色について資料から読み取っている。 A 要点をとらえてまとめている B 書いている 評価物：ワークシート		・単元 key1-3 を提示し説明 ・単元 key1 について、スーパーマーケットを例に考察。
2	グローバル化が進むと社会はどうか		グローバル化について多面的・多角的に考察している。 A 二つ以上のキーワードや要素を取り入れて記述 B 一つ入れている 評価物：ワークシート		様々な分野でグローバル化の進展がみられることを理解している。 A80% B50% 評価物：定着テスト	・単元 key2 について、本時のキーワードを活用して分析・発表。
3	情報化が進むと社会はどうか		情報化について多面的・多角的に考察している。 A 二つ以上のキーワードや要素を取り入れて記述 B 一つ入れている 評価物：ワークシート		情報通信技術の発達が情報化を進めていることを理解している。 A80% B50% 評価物：定着テスト	・単元 key2 について、思考ツールを活用して分析・発表。

4	少子高齢化が進むと社会はどうなっていくか		少子高齢化について多面的・多角的に考察している。 A 二つ以上のキーワードや要素を取り入れて記述 B 一つ入れている 評価物：ワークシート	少子高齢化の特色について資料から読み取っている。 A 要点をとらえてまとめている B 書いている 評価物：ワークシート		・単元 key2 について、ふせんと思考ツールを使って分析・発表。
5 構	持続可能な社会に向けて～グローバル化・情報化・少子高齢化が進むと、新篠津村はどうなっていくか～	自分が社会にどう関わり参画していくか、自分の考えを述べている。 A キーワードを用いて自分の考えを記述 B 書いている 評価物：ワークシート	社会の変化に応じて、自分たちの生活がどう変化していくか、多面的・多角的に考察している。 A 二つ以上のキーワードや要素を取り入れて記述 B 一つ入れている 評価物：ワークシート			・思考ツールを活用して、単元 key1 と 2 について分析する。 ・単元のまとめとして単元 key3 について考える

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①自分が社会にどう関わり参画していくか、自分の考えを述べている。(関心・意欲・態度)
- ②社会の変化に応じて、自分たちの生活がどう変化していくか、多面的・多角的に考察している。
(思考・判断・表現)

(2) 本時の評価

- ①B規準 自分の言葉で考えを記述している。
＜指導の手立て＞
これまで学習してきたキーワードをノートで確認させ、それを手がかりに記述させる。
- ②B規準 課題に対して、キーワードを活用しながら自分の意見を表現している。
＜指導の手立て＞
具体的な場面や状況を想起させ、それを言葉で表現できるように支援する。

(3) 本時の展開

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導入	5分	<p>○3分トレーニング 3分</p> <p>○これまでの学習を振り返る。(グローバル化、情報化、少子高齢化&単元のkeyword) 1分</p> <p>○本時の課題を理解する。1分</p>	<p>○指示</p> <p>○単元のkeywordをもとに確認</p> <p>○板書</p>	
		<p>これまで学習してきた社会的な見方・考え方を再度確認する。</p>		
		<p>グローバル化、情報化、少子高齢化が進むと、新篠津村はどうなっていくか？</p>		
展開	40分	<p>○各個人で課題に対する自分の意見を考え、ワークシートに書く。5分</p> <p><予想される生徒の考え></p> <p>・外国人労働者が増える ・ドローンを農業でさらに活用 ・高齢者がさらに増えていく</p>	<p>○ワークシートの配布と説明。記述のしかたの説明。</p> <p>机間巡視</p>	②
		<p>○各グループ(4人×6グループ)で、新篠津村がどうなっていくか意見を出し合う。9分</p> <p>社会的な見方・考え方：現代社会の変化</p> <p>思考ツール：マッピング</p> <p>使用する教具：マグネットシート</p>	<p>○用具配布・説明</p> <p>机間巡視</p>	②
		<p><予想される生徒の考え></p> <p>農業→働き手不足→外国人や無人化</p> <p>学校→子どもがいない→ほかの地域と統合</p>	<p>○指示</p> <p>机間巡視</p>	②
		<p>社会的な見方・考え方の活用②→グループで多面的・多角的に思考するための視点として</p>		
		<p>社会的な見方・考え方の活用③→自分たちの意見や考えを選択・判断する視点として</p>		
		<p>○各グループで、出し合った意見について、持続可能かどうか分析する。5分</p> <p>社会的な見方・考え方：持続可能な社会</p> <p>使用する教具：青マーカー→発展 赤マーカー→課題</p> <p>※発表準備3分</p> <p>○全体で、グループごとに発表する。各グループ1分×6+準備・移動等6分=12分 発表者2名(青1赤1)</p>	<p>○質問等あれば聞く。内容によっては問い返してさらに説明してもらう。</p> <p>○緑マーカーで、持続困難な課題を取り上げていく。</p>	
終末	5分	<p>※発表の整理・まとめ 1分</p> <p>○これまでの学習を踏まえ、新篠津村のこれからの変化に対して、自分たちにできることを考えて書く。3分</p> <p>社会的な見方・考え方：社会参画</p> <p><予想される生徒の考え></p> <p>・人口減少を止めるために、新篠津の魅力をもっとアピールしていく。 ・若い人が村づくりに積極的に関わっていく。</p> <p>○これからの公民の学習について、話を聞く。1分</p>	<p>○ワークシートに記述してもらう。</p> <p>○この単元で学習した社会的な見方・考え方が、公民分野の授業全体に関わっていくこと(今、現実の社会の課題をとらえ、どう解決すべきか考えること)、また、自分が住む地域の事や自分事として問題を考えることの大切さを説明。</p> <p>→現代社会の変化については、今後も新聞キーワードの切り抜きを継続。持続可能な社会と社会参画に関しては、議会の傍聴や村づくりプランの提案につなげる。</p>	①
		<p>社会的な見方・考え方の活用④→課題に対する個人思考の視点として</p>		

社会的な見方・考え方の活用①→課題に対する個人思考の視点として

社会的な見方・考え方の活用②→グループで多面的・多角的に思考するための視点として

社会的な見方・考え方の活用③→自分たちの意見や考えを選択・判断する視点として

社会的な見方・考え方の活用④→課題に対する個人思考の視点として